

# おがわ

議会だより  
チェック・アンド・バランス



## 新ごみ焼却施設は吉見町に

町民の声を町政に 10 人が一般質問 P.8

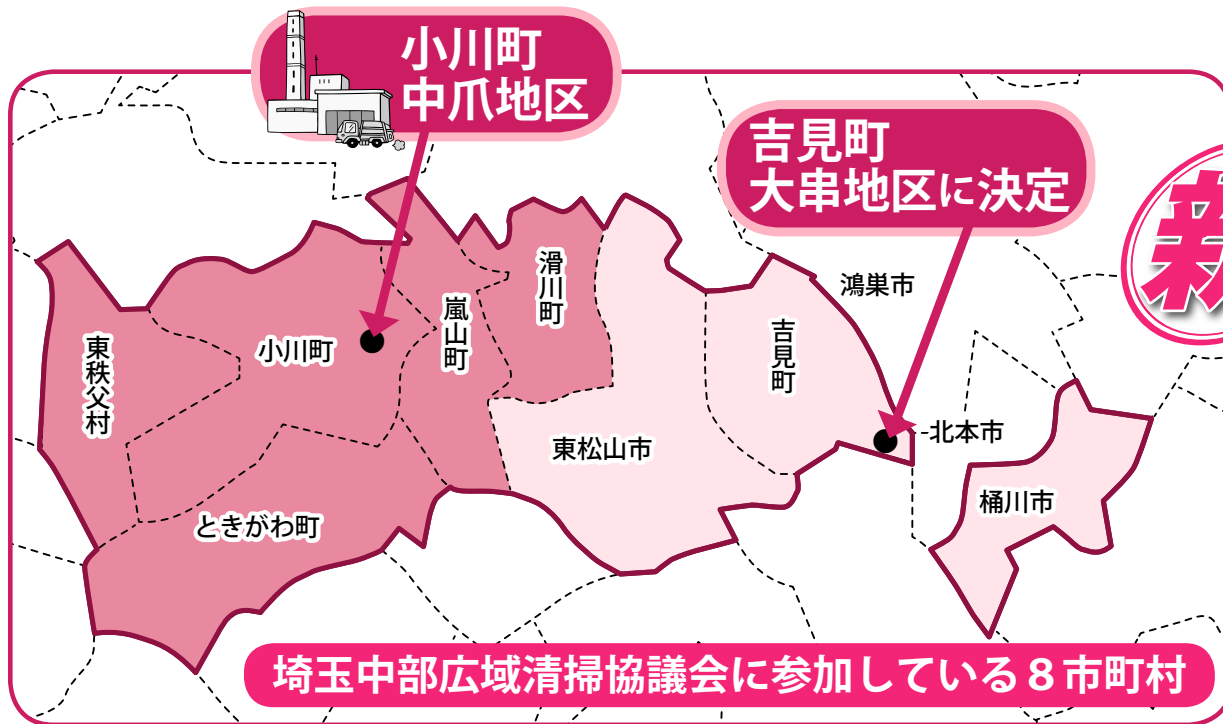
No. **74**  
2015.2.1

小川町サッカー協会主催 新年もちつき大会



新たな 枠組みで動き出す

# 新ごみ焼却施設は吉見町に



## 現在の焼却炉の状況は

小川町中爪地区内にある焼却炉は、稼働から38年が経過しています。公害防止対策工事は行なわれていますが、毎年多額の維持補修費を要しながら今日も運転を続けています。平成24年には空気予熱器等の更新工事に2億6880万円を計上しています。現在の施設は、地域住民との約束で改築や大規模な改修はできないことになっています。

## 経過

H25年2月

小川地区衛生組合議会で、構成自治体（滑川町・嵐山町・ときがわ町・東秩父村・小川町）の中には建設候補地はないと各町村長が答弁

H25年3月

8市町村で埼玉中部広域清掃協議会設立

H25年9月

吉見町内、東第二地区と川島町芝沼地区の住民の方から「一般廃棄物処理熱回収施設の建設について」の要望書が協議会に提出される

協議会での審議を経て建設予定地を8カ所に絞り込み、地域への説明会を開催。ごみ処理基本構想、基本計画案が作成される

## 老朽化

小川地区衛生組合の焼却施設（中爪）は老朽化



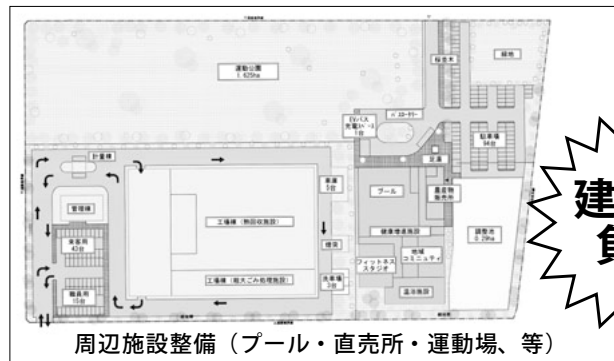
## 費用が倍増

収集運搬費用が約2.3倍



## 建設費負担

周辺施設整備（プール・直売所・運動場、等）の建設費負担（小川町民の利用は見込めない）



## 住民の反対

一部の地元住民の反対



H26年3月

吉見町大字大串字中山在地区（現埼玉中部環境保全組合隣接地）に建設地が決定。ごみ処理基本構想、基本計画案が策定

H26年12月

埼玉中部資源循環組合設立についての審議

## 質疑が集中22件

問 さらなる広域化と、新たな枠組みとなる一部事務組合へ参画するメリット・デメリットは。

答 メリットは、施設の建設費等、初期費用の負担が軽減されます。

デメリットは、回収運搬に係る費用が現状の約2・3倍に増える見込みです。

問 現在の埼玉中部環境保全組合の周辺には再建築しないことで和解していたが。

答 ご理解いただけるよう丁寧に説明していきます。

問 現在、焼却施設へ個人が直接持ち込んでいるごみの受け入れはどうなるのか。不法投棄へつながる心配もあるが。

答 現状どおり、小川地区衛生組合の施設で受け入れできるよう配慮します。

問 周辺施設整備の負担割合がしっかりと示されなければ不安だが。

答 今後の協議となりますが、平等割ではなく、利用割合に応じた負担となるよう要望していきます。

問 新施設の稼働は平成33年度を予定しているが、それまでに現行の焼却施設の維持管理と延命に係る費用は。

答 今後7年間での運転費用は、点検・修繕整備に約30億円を要するとの試算です。そのうち、構成自治体による当町の負担分は、約12億円となります。

問 小川地区衛生組合で中心的な役割を担っている当町がリーダーシップを発揮し、構成自治体と再度、協議することは。

答 議論は、既に済んでいます。

現行の規模での運営も考えにありましたが、新施設の適地を確保できなかったことや、その建設費の負担増を総合的に判断した中で、今回の枠組み・広域化は推進すべきと考えています。

今後7年間での運転費用は、点検・修繕整備に約30億円を要するとの試算です。そのうち、構成自治体による当町の負担分は、約12億円となります。



平成  
26  
年度

# 一般会計補正予算

今定例会は、埼玉中部資源循環組合の設立や指定管理者の指定、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算など23議案を審議し、すべて可決しました。議員提出議案として小川町地酒

平成26年12月定例会  
12月3日～12日

等による乾杯条例が提案され、全会一致で可決されました。請願審査1件は否決しました。  
なお、一般質問には10人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

## 《主な質疑》

### 算出根拠は

問 西中学校改築事業の遅延による、損害賠償金の算出根拠は。

答 約款に基づいて算出しました。43日間の遅延分239万円です。

### 取りやめに

問 パトリアおがわのプール可動床の改修が、入札不調により取りやめとなったが、今後は。

答 利用者増を見込んで改修に臨みましたが、見直しを含めて2度とも不調に終わりました。

しばらくは現状のままご利用いただき、経過を見守ります。また、お客様のニーズや施設の維持管理等を総合的に

判断して対応を考えていきます。

### 今後の活用は

問 和紙体験学習センターの改修が白紙に。今後の活用は。

答 施設のあり方を改めて検討し、活用していきます。管理図面が存在しないので、まずはその作成を図り、用途に合わせた改修に臨みます。

### いつ完成か

問 町道228号線道路改良事業費の大幅減の理由は。また進捗は。

答 国からの補助決定額が、当初見込んだ額に満たなかったための減額です。再三の追加要望を行ないましたが、至りませんでした。平成27年度中には完成予定です。

### はじめの一步

問 総合運動場の整備費の内容は。サブグラウンド化に値する整備か。

答 野球場予定地内において、ウオーミングアップ程度での使用を見込んだ整地と、簡易なフェンスの設置を考えています。野球場としての整備ではありません。

### また雨漏りが

問 東中管理棟の屋根部分の工事請負費。再三の雨漏りとことだが、その内容は。

答 1階保健室への雨漏りに対応した工事です。

問 耐用年数を総合的に判断したとき、建屋本体の限界も近い。対応は。

答 今後は、町が進めるアセットマネジメントの計画の中で検討します。

# 条例の制定・改正

## 《主な質疑》

### 開発許可等の権限が県から町へ

問 この条例制定のメリットは。

答 開発行為の許認可手続にかかる時間の短縮と、町に手数料が入ります。また、開発行為に関する規制を定めることもできます。

### 新たに都市政策課を設置

問 課の役割や規模は。

答 建設課所管の都市計画グループからの移行となり、開発部門を含めて担当します。規模については、調整中です。

問 当町の交通政策も担うことになるが、その意義とは。

答 総合振興計画や都市計画マスタープランにもある交通政策は、都市計画と一体となつて変わっていくので、このような位置づけとしました。

### 和紙体験学習センターが指定管理者から直営に

問 直営に戻した理由は。

答 町有建築物で最古のもので、老朽化がその理由です。

問 直営後、どのように展開を考えているのか。

答 1日も早く和紙の資料の展示や後継者育成の場として、活用をしていきたいと思っています。さらに、不特定多数の方が訪れる施設として、耐震を含め消防法に対応する工事を行なっていきたいと考えています。また、和紙の指導については、和紙工業組合の方と意見交換を実施し、連携をとって、活用を模索・検討していきたいと思っています。

問 担当する職員体制はどのように考えているのか。

答 役場全体のバランスを見て、配置を考えていきます。



すたむちゃんのひとひめも

和紙体験学習センターには戦後導入された抄紙機（紙をつくる機械）が納められています。



和紙体験学習センター（外観）



その他

《主な質疑》

八和田学童クラブ

問 指定管理料が増額の理由は。

答 受け入れ時間を30分早めることによる増額です。

問 障がい児を受け入れた場合の態勢や費用負担は。

答 受け入れ態勢の補助をしていきます。

埼玉伝統工芸会館

問 子どもたちの入館料や紙漉き体験について、無料化はできないか。

答 検討していきます。

問 和紙関連のイベント事業の計画は。

答 町の主催で行なうものが出てくると考えます。



埼玉伝統工芸会館  
指定管理者：（一財）埼玉伝統工芸協会



八和田学童クラブ  
指定管理者：NPO法人たすけあいほっとライフ小川

4施設の指定管理者継続



中爪文化センター  
指定管理者：中爪区



小川町仙元山見晴らしの丘公園  
指定管理者：日本環境クリアー（株）

小川町（広域）適応指導教室委託規約

問 事務費・経費などの算出方法は。

答 毎年300万円の予算で、指導員1名・補助員1名の報酬費260万円、事務消耗品等として40万円を組んでいます。

当町は、今年度まで人数割で100万円の分担が、平成27年度からは費用の半分を均等割、半分を人数割としたことで、80万円の分担となり20万円の減となりました。

問 光熱水費・家賃・引越費用等の負担割合に関して



すたむちゃんのひとmomemo

広域適応指導教室共同設置自治体

滑川町・嵐山町・ときがわ町・東秩父村・小川町

は、当町だけということだが、しっかり協議すべきでは。また、2階部分スペースの教育的有効活用も行なっていくべきでは。

答 費用分担に関しては、算出方法も含め今後協議していきます。2階部分の利用方法も十分協議していきます。

問 追加工事で約1150万円の増額とのことだが、当初の段階で把握できなかったのか。

答 工事を進めていく段階で、監理業者からの提案もあり変更することになりました。もったいなくと精査すべきだったと反省しています。

問 積算の変更は誰が行なったのか。

答 工事監理者を中心に職員と一緒に行ないました。

問 工事監理者は、設計図書に忠実に工事を行なうのが使命で、簡単に追加工事を行なうべきでないと思うが。

答 工事予定でなかった地下部分の改修を、補助金等の関係から行なったためです。

請願審査

消費税増税にはしないよう政府に意見書の提出を求める請願

請願者  
小川町大字大塚 1233 番地 23  
全日本年金者組合 埼玉県本部 小川支部  
支部長 天田英男

審査結果  
総務常任委員会に付託され、委員長報告は「不採択」でした。  
本会議での審査も、「不採択」となりました。

問 老朽箇所のアスベストなどの混在が予測できなかったのか。また、その飛散防止や作業員の安全対策は、十分考慮されているのか。



作業員の安全対策は考慮されているか

審議議案と議員の賛否

議案名	議員名	審議結果
専決処分の承認（一般会計補正予算（第4号））	柳田多恵子	承認
都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例制定	井口亮一	可決
課設置条例の一部を改正する条例制定	高瀬勉	可決
一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定	島崎隆夫	可決
町長及び副町長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定	柴崎勝	可決
和紙体験学習センター条例の一部を改正する条例制定	山口勝士	可決
八和田学童クラブの指定管理者の指定	高橋さゆり	可決
仙元山見晴らしの丘公園の指定管理者の指定	松本修三	可決
埼玉伝統工芸会館の指定管理者の指定	金子美登	可決
中爪文化センターの指定管理者の指定	松葉幸雄	可決
埼玉中部資源循環組合の設立	大戸久一	可決
滑川町・小川町適応指導教室に関する事務の委託	根岸成美	可決
嵐山町・小川町適応指導教室に関する事務の委託	宮澤幹雄	可決
ときがわ町・小川町適応指導教室に関する事務の委託	大塚司朗	可決
東秩父村・小川町適応指導教室に関する事務の委託	戸口勝	可決
庁舎エコオフィス化改修工事請負変更契約の締結	小林一雄	可決
平成26年度一般会計補正予算（第5号）		可決
平成26年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）		可決
平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		可決
平成26年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）		可決
平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）		可決
平成26年度水道事業会計補正予算（第1号）		可決
議員提出議案		
地酒等による乾杯の推進に関する条例制定		可決
請願審査結果		
消費税増税にはしないよう政府に意見書の提出を求める請願		不採択

※（○）は賛成、×は反対、欠は欠席 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します



## 議員提出議案第2号

小川町地酒等による乾杯の推進  
に関する条例制定について

可決

## 小川町地酒等による乾杯条例

「和食」が平成25年に、そして「和紙：日本の手漉き和紙技術」が平成26年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。こうして世界的に「和の文化」へ注目が集まっている中、当町でも、和の文化や伝統は、歴史上でも非常に重要な役割を果たしてきました。それは、鎌倉時代より交通の要衝として栄えた小川町にヒト・モノ・カネが集まり始めてからのことで、細川紙をはじめとする小川和紙・絹・建具などの商いのために、毎晩酒宴が開かれ盛大に行なわれたとのこと。さらには、鉄道誘致にも一役買ったとも言われています。

乾杯は、祝いの時、喜びの場には欠かせない日本の文化です。この条例では、地元小川町で生産される日本酒・焼酎・ピール・ワインその他飲料による乾杯を推進することにより、地酒等に焦点を当て積極的な普及を図るとともに、町内の酒造業その他関連産業の発展、地産地消の促進及び郷土を愛する社会的機運の醸成のために、全会派・全議員一致のもと提案し、全会一致で12月12日に可決制定しました。

町民の声を  
町政に

## 町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会日よりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

## 一般質問席

## 質問

国の「まち・ひと・しごと創生本部」の施策の今後と、地方版総合戦略策定に向けて、当町の準備・心構えは。

## 答弁

政策推進課長 本年（平成26年）9月、国の「まち・ひと・しごと創生本部」が基本方針を発表しました。当町も、国の策定する「長期ビジョン」（50年後に人口1億人程度の維持目標）と「総合戦略」を受け、平成27年度中に、「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定予定です。

## 質問

細川紙のユネスコ文化遺産登録。町の活性化につ

今回の政府の施策は、当町の「少子高齢化・人口減少の克服」に向けたチャンスと捉え、国・県の情報収集や、人口動向分析・将来人口推計や課題の抽出に、全庁的に取り組んでいます。

## ユネスコ登録から町の活性化に

なげる、具体的な展開手立ては。

## 答弁

産業観光課長 技術の保護・伝承はもちろんのこと、小川和紙全体の需要と生産の拡大、町全体の活性化や観光の振興につなげていきたいと考えています。

## その他の質問

子ども子育て新制度について

## 町政

「まち・ひと・しごと創成会議」小川町のこれからは  
全庁的に取り組んでいきます

山口勝士 議員

小川町の特徴を  
みんなで見つめ直したい



まち・ひと・しごと創生本部が設置

チャンスを生かし、  
夢を現実に！



戸口 勝 議員

## まちづくり

小川町駅北側の開発は  
最後のチャンスだと考えています

## 質問

北口の開設は。

## 答弁

建設課長 小川高校に道路用地と北口広場用地の提供を交渉して

います。道路計画は、車道幅員6・5メートル、歩道幅員2メートルです。また、北口広場については、小川高校の体育館脇に考えています。

都市ガス導入から  
見える町の方向性

## 質問

プロパンガスを取り扱い、生計を立て、町へ納税をしている事業者がい

少子社会での  
学校のあり方

## 質問

一部の学校で、児童生徒数が多く、その他は少ない。全体的な均衡化を図るために、緩やかな学校の区変更は考えていないのか。

## 答弁

学校教育課長 慎重に検討し

る。片や、今後エネルギーの供給はするものの、納税はしない新たな立場ができる。地球温暖化実行計画の狙いとして「経済活動を収縮することは町の活力が失われる」とあるが、その整合性は。

## 答弁

総務課長 公

共施設は、可能な限り都市ガスを利用したい。しかし、町全体のエネルギー施策の方向性は示されており、今後、関連業界の皆様を含めての議論が進められると考えています。

## その他の質問

企業誘致の対応について



小川町駅



## 駅周辺整備

## 駅北口開設、南北自由通路ようやく決断か

円滑に協議が進められるよう対応していきます

とても長い道のりだったね



井口亮一 議員

す。  
**質問** 小中学校の連携は  
 小学校から中  
 学校へと進学  
 する際、不登校などに  
 つながる「中1ギャツ  
 プ」などの問題につい  
 てどのように取り組ん  
 でいるか。

**答弁** 学校教育課長  
 小・中学校人  
 事交流事業を県下でも  
 先駆けて行ない、継続

して学習指導や生徒指  
 導に成果を上げていま  
 す。「中1ギャツプ」  
 の解消に大きな力を発  
 揮してきました。小・  
 中連携の推進は、指導  
 の一貫性・学習内容の  
 系統性が教職員間で共  
 通認識され、学習の効  
 率性を高めています。  
 児童生徒に迷いがなく  
 なり、夢と希望の実現  
 に気持ちを集中しやす  
 くなっています。

**質問** 町長は駅北口  
 開設について  
 選挙で公約した上、新  
 聞紙上で「若者の定住  
 促進などの効果を期待  
 して進めます」と明ら  
 かにされた。駅北口の  
 開設、駅周辺整備に向  
 けた思いを可能な限り  
 具体的に聞かせてほし  
 い。

整備は、町の活性化・  
 住みやすさ・暮らしや  
 すさに大きく寄与する  
 ものと考えます。そし  
 て、この好機を逃すと  
 二度とチャンスはない  
 と考え、事業化に向け  
 一步を踏み出す決断を  
 したところです。  
 今後は、事業着工に  
 向けて円滑に協議が進  
 められるよう誠意を  
 持つて対応していきま



駅北側 小川高校前

## 観光

細川紙を観光資源とした活用は  
関係団体と協議します名実ともに和紙のふるさとへ！  
しっかり盛り上げます

高瀬 勉 議員

**質問** 観光ボラン  
 ティアの育成  
 は。

**答弁** 産業観光課長  
 細川紙のユネ  
 スコ無形文化遺産登録  
 を機に、多くの来訪者  
 が期待されるので、教  
 育委員会や関連団体の  
 協力を得て、町の魅力  
 を紹介できるボラン  
 ティアの育成を考えて  
 いきたいです。

**質問** リニューアル  
 が待たれる  
 ホームページの活用  
 は。

**答弁** 政策推進課長  
 トップページ  
 の総合案内から「観光・

## 空き家住宅対策を

**質問** 年々増える空  
 き家住宅の管  
 理が進められないと、  
 建物の損壊や、草木が  
 繁茂し、周辺環境に悪  
 影響を及ぼす。この管  
 理に関して、国は基本  
 指針を2015年2月  
 までに、ガイドライン  
 は5月末までに策定す  
 る予定である。町も条  
 例を制定すべきと思う  
 が。

**答弁** 環境保全課長  
 空き家等対策  
 の推進に関する特別措  
 置法が、平成26年11月  
 19日に参議院で可決成  
 立し、今後公布される  
 予定です。この法律で  
 は、国が空き家等に関  
 する施策の基本方針を  
 策定することされて  
 いますので、その指針  
 に沿って、当町の実情  
 に合わせた内容の条例  
 の検討が必要になると  
 考えます。

**質問** 広域観光の充  
 実と、比企地  
 域元気アップ実行委員  
 会のあり方は。

**答弁** 政策推進課長  
 他市町村と連  
 携して広域で観光に取  
 り組むことで、PR効  
 果の増大や観光資源の  
 ネットワーク化等の大  
 きなメリットがあるこ  
 とから、必要性を強く  
 感じています。また、  
 比企地域元気アップ実  
 行委員会は、設置から  
 5年が経過し、PR手  
 法のマンネリ化や誘客  
 ターゲットが一定しな  
 い等の課題がありま  
 す。今後は、広域的な  
 観光資源の活用や同実  
 行委員会のあり方、効  
 果的な手法の研究を深  
 めて、取り組みを提案  
 していきます。

町民の夢とロマンを求めて  
友好都市の締結を急げ

## まちづくり

友好都市の締結を  
現在の体制では難しいです

松本修三 議員

**質問** アルプスを望  
 む町、海辺の  
 町等と、お互いの自治  
 体の特色を生かし交流  
 できる相手先を選び出  
 し、調査・研究を進め、



海辺の町

打診して反応があった  
 自治体と協議を進める  
 べきと思うが。

**答弁** 総務課長 友  
 好都市の締結  
 をすれば交流は進めら  
 れますが、現在の町の  
 財政状況を勘案する  
 と、友好都市を締結し  
 て交流事業を行なうこ  
 との優先順位は、現時  
 点では高いものではあ  
 りません。また遠隔の  
 自治体と相互応援の協  
 定を結んでも、現在の  
 備蓄品の量、職員の体  
 制では難しいです。



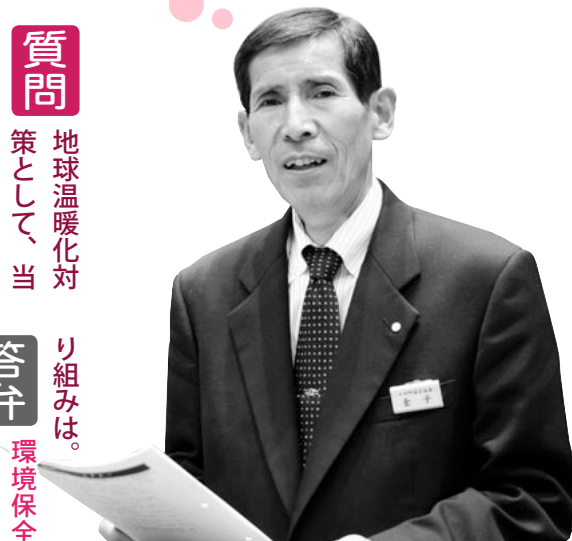


地球温暖化対策

エネルギー・地産・地消への取り組みを

具体的な提案があれば、検討していきたい

町長、生ごみやし尿は資源化の時代ですよ！



金子美登 議員

稼働していますが、生ごみは焼却処理せず、ガスや液肥に生まれ変わらせます。メタンガスに関しては、良好な醗酵状況が維持されず、発電システムや余熱利用まで進まない状況が続いています。③町の木材利用は、平成25年に「町内産木材等利用住宅リフォーム補助金制度」を開始しました。利用促進を図っています。木質バイオマスエネルギーの動向は注視していきたいと思ひ、森林組合や木材建具工業協同組合等から具体的な提案があれば、検討していきたいと考えています。

**質問** 地球温暖化対策として、当町が新たに策定した実行計画について。  
①既に活用されている廃食用油の回収状況と公用車への活用は  
②他の自治体からも注目されているバイオガス小型実証モデルの拡大計画は ③当町総面積の約4割を占める、森林の木質バイオ・エネルギーの活用への取

**答弁** 環境保全課長 ①平成24年から公共施設等の拠点回収と町立保育園の廃食用油回収を実施し、年間2000リットル超あります。現在6カ所の排出場所を増加したいと考えています。活用は給食センターの配膳車一台のみです。②上横田にあるバイオガスプラントは10年以上



生ごみ等資源化プラント「くるるん」(福岡県大木町)

交通手段の確保

デマンドバス(タクシー) 交通政策の行方は

国の基本方針により当町も準備を進めています

明るいきざしが見えてきた！



柳田多恵子 議員

**質問** 近隣自治体でもデマンドバス(タクシー)等を含め、交通手段の確保については具体化が進んでいる。6月議会で公聴会を開くとの回答だが、当町での取り組みは。

**答弁** 政策推進課長 地域公共交通活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律が、11月20日に施行され、この法律に基づいた国の基本方針も変更されました。今後は、地域の公共交通ネットワークの再構築に向けた取り組みを進めていきます。

人が人を支える。そんな理想的な社会を目指したい



島崎隆夫 議員

交通安全

歩道の整備と安全対策は

安全で快適な歩道整備をする必要があると思います



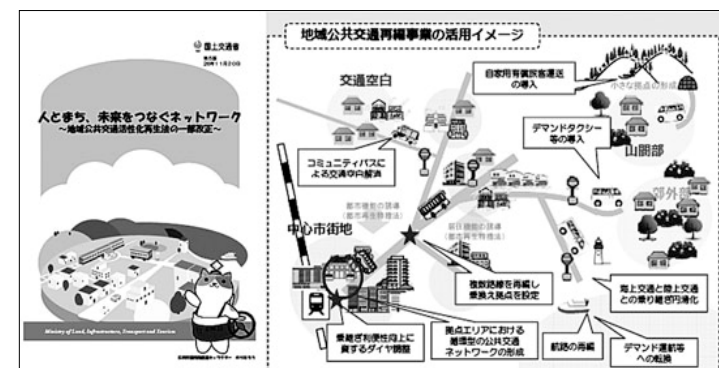
市野川にかかった歩道

**質問** 自転車などを利用する人への安全指導は。  
**答弁** 学校教育課長 他 小中学校では、児童生徒に交通安全指導教室を開催しています。また、高齢者向けにも同様に開催

**質問** みずから移動できることを推進するために、二輪・三輪自転車、シニアカー等の購入費に補助金を出しては。  
**答弁** 副町長 『小川町地球温暖化対策実行計画』内の施策に自転車利用の促進を掲げましたが、補助金を出しての推進は考えていません。  
**質問** 町を支える人々に光を。  
**答弁** 民生委員の活動は町民に理解されているか。  
**質問** 福祉介護課長 国の制度であり、福祉行政と住民との間に立つ重要な役割を担っていただいています。町民に理解していただくようにしていきます。  
**質問** ボランティア活動団体に対する町の考えは。

**答弁** 政策推進課長 「広報おがわ」「社協だよりクロージャー」等の広報紙で活動を掲載し、町民のボランティア活動への意欲が高まるように支援していきたいと考えています。  
**質問** 役場の職員のボランティア活動は。  
**答弁** 総務課長 職員の休暇にかかる条例では、年5日のボランティア休暇をとれるようになっていきます。  
**質問** 細川紙のPRは  
**質問** 町内飲食店等に町内案内図や細川紙の資料を提供しているか。  
**答弁** 産業観光課長 資料は、希望店に配布しています。講演会は、2月11日に開催予定です。

を進めていきます。この取り組みの中で、交通手段の確保についても具体的な検討を進め、広聴会の開催に向けて、住民の皆さんに示せる計画等の準備を進めていきます。  
**質問** 具体的にはどのようなスケジュールとなるのか。  
**答弁** 政策推進課長 当町では交通手段の確保について、現在手がついていない状況ですが、今後は県も計画を策定することになりますので、資料提供が期待できます。経過や区域、基本方針や実施スタイル、計画期間など国への手



地域公共交通活性化及び再生に関する法律の一部改正の内容の一部







# 我が町再発見「成人に想うこと」



みずから漉いた小川和紙の卒業証書  
を手に、中学校を卒業してから早いもの  
で5年がたとうとしています。母校上野  
台中は閉校となりましたが、ともに学び、  
ともに遊び、同じ時を過ごした仲間との  
友情はかけがえのない宝です。

そして、今こうして、成人として新た  
な一歩を踏み出すことができるのも、両  
親をはじめ多くの人々の支えがあったからこそです。

感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生、自分の道を  
精いっぱい歩いていきたいと思います。

成人式実行委員会 委員 井田有香



## 議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち⑬

## 小川町青少年相談員

子どもたちの健やかな  
成長を願って

青少年相談員とは、埼玉県知事からの委嘱を受け、地域の子どものよき友、よき理解者となって、子どもたちの健やかな成長をサポートするため、さまざまな活動をするボランティア（18歳～36歳までの男女）で、現在16人が活動中です。12月20日、八和田公民館で子どもたちとクリスマス会行事の準備をする相談員の皆さんから話を伺いました。



### Q どんなことをやっているのですか。

A いちご狩り・サマーキャンプ・クリスマス会が3大行事。ほかに、はつらつ朝市で遊びのイベントや、今年は田植えや収穫なども子どもたちと一緒に行ないました。

### Q 相談員になってよかったことは。

A 最初は子どもたちと一緒に楽しむというところから。経験を積むにつれて子どもたち全体に目配りができるようになりました。初めはぎくしゃくしていても、1泊2日のキャンプが終わるころには相談員も子どもたち同士もすっかり打ち解けて、楽しかった、また来たいと笑顔で言われると苦労も吹き飛びます。町で声をかけられるのもうれしいですね。

### Q 皆さんにアピールしたいことは。

A 若い人が地域に少なくなっているようで、後継者づくりが少し心配です。一緒に楽しんでボランティアやってみようよ。自分自身も成長できますよ。

担当：柳田多恵子

## 編集後記

私は、編集委員として「議会の今を伝えます」と、約束しました。

今号は、住民の皆様とともに細川紙のユネスコ無形文化遺産登録を喜び、これからのことを語りたかった。しかし話し合った結果、見開きは『新ごみ処理施設』について

となりました。どちらも町民にとって大切な事柄であると思います。

私たち議員は、議場において賛否を求められます。どちらを投じた議員も町民のことを考え、悩んだ末に結論を出したことを見ていただけたら幸いです。

編集委員 島崎隆夫



## 議会だより おがわ No. 74

小川町議会だより 74号

平成27年2月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877

http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo

### 議会広報発行特別委員会

議長	小林 一雄
委員長	柳田多恵子
副委員長	大戸 久一
委員	戸口 勝
委員	高橋さゆり
委員	島崎 隆夫
委員	高瀬 勉

## 議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

**3月3日(火)** からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。